

平成30年度農林水産関係予算のポイント(概要)

	平成29年度	平成30年度	前年度比
農林水産関係予算	2兆3,071億円	2兆3,021億円	▲50億円 (▲0.2%)

- 平成30年米政策改革を実行し、市場が求めるものを自ら経営判断して作る農業への変革を支援すべく、水田活用の直接支払交付金や収入保険制度を措置する。農業農村整備事業により競争力を強化して、こうした変革を後押しするとともに、防災・減災対策も推進する。
- 国内の森林資源が本格的な利用期を迎える好機をとらえて、林業の高付加価値産業化を支援する。

【主な内容】

※()内は29年度当初予算比

自ら経営判断する農業への変革の支援

- ・ 水田活用の直接支払交付金 3,304億円 (+154億円)
- ・ 収入保険制度の実施 260億円【新規】

(注) 米の直接支払交付金は30年度予算から廃止 (▲714億円)

農業農村整備事業による競争力強化、防災・減災対策

- ・ 農業農村整備事業(公共) 3,211億円 (+127億円)
- ・ 農地耕作条件改善事業等(非公共) 499億円 (+263億円)
- ・ 農山漁村地域整備交付金のうち
農業農村整備分(公共) 639億円 (▲61億円)

(注) これらの事業の合計4,348億円 (+328億円)

林業の成長産業化

- ・ 林業成長産業化総合対策 235億円【新規】
うち森林整備事業成長産業化路網枠 80億円

農山漁村の活性化

- ・ 農泊推進対策 57億円 (+7億円)
- ・ 鳥獣被害防止対策支援事業 98億円 (+3億円)
- ・ ギビエ倍増モデル整備事業 6億円【新規】

輸出力の強化・国際的認証の推進

- ・ 海外販売促進活動強化と輸出環境整備 36億円 (+7億円)
うちJFOODO関連 8億円【新規】
- ・ GAP拡大推進加速化事業 6億円【新規】